

第16回碧南市芸術文化ホール指定管理者審査委員会 会議録

1 日時

平成30年5月12日（土）

2 場所

碧南市民図書館2階会議室

3 出席者及び欠席者

(1) 出席者

清水裕之（委員長）、小林尚、靱山勝人、鳥居悦子、宮本美枝子、金沢宏治
計6人

(2) 欠席者

石川善博

(3) 事務局職員

教育部長 奥谷直人、文化創造課長 鈴木利男、庶務係主事 高橋理恵
計3人

(4) 指定管理者

芸術文化ホール館長 島英之及び芸術文化ホール副館長 中川志保

4 傍聴者

なし

5 議題

(1) 平成29年度 事業報告書について

(2) 碧南市芸術文化ホール指定管理に関する点検評価について

6 議事の要旨 【 議事の進行 清水委員長 】

あいさつ（委員長）

新任委員よりあいさつ（宮本委員、金沢委員）

(1) 平成29年度 事業報告書について

指定管理者が資料に基づき、説明。

< 意見・質疑 >

【A 委 員】 報告内容について質問や意見はあるか。

- 【B 委 員】 収支状況について、付帯設備使用料の予算が0（ゼロ）になっていて、実績では300万となっているがどうか。
- 【B指定管理者】 付帯設備は備品（ピアノや照明など）といった、施設の使用料以外にかかってくる費用であり、利用者によって使用範囲に差があるので予算として計上するのは難しい。
- 【A指定管理者】 利用料金全体の中に付帯設備使用料を見込んで、（利用料金収入が）トータルで1,000万円という予算立てをしている。
- 【B 委 員】 文化振興事業費が収入に含まれて、最終収支（率）が100%を超えているとしているが、文化振興事業費は収入の中の指定管理料に含まれていると理解してよいか。
- 【A指定管理者】 その通り（指定管理料）である。
- 【B 委 員】 指定管理料のうち、いくらを文化振興（事業）費なのかを明確にする
とわかりやすいが、現報告書だと収支がぼやけてしまっている。
A3の一覧表（53Pから55P）の収入部分にも含まれた数字で、
100%を超えてしまっているが、実際に文化振興（事業）費を除く
と何%になるのかを出すと、比較が出来て良いと思う。
- 【事 務 局】 事務局で計算したところ、29年度の各事業の文化振興事業費の合計
は、11,376,000円。そして、前年度が12,784,000円である。
- 【B 委 員】 計算して確認はしたのだが、それを個人で計算しないとわからないの
で（報告書で出してあると良いのではないか）。
- 【事 務 局】 事務局としては、把握しているということを報告させていただく。
- 【F 委 員】 58Pの（小中学校）アウトリーチについて、長い間実施を行っている
のか。それとも、昨年から始めたものなのか、継承されているのか。
- 【A指定管理者】 碧南市では小学5年生になると、エメラルドホールで演奏を聞くとい
う事業が（直営時に）長年続いていた。指定管理に変わってからは学
校側に来てもらうのではなく、学校に演奏者を派遣し、コンサート等
を聞いていただくという形をとっている。なので、平成26年からは
毎年実施を行っている。
- 【F 委 員】 （内容については）子供たちの成長や教材との関係を考えて、実施し
ているのか。

- 【A指定管理者】 当初は音楽の教科書から抜粋して行おうと（教科書を借りて）検討していたのだが、実施時期について学校側に決めてもらうことから、（教科書と）関連性をつけてしまうと、奏者のスケジュールと兼ね合いがあり難しい部分があるため、教科書とは別物として実施している。
- 【A 委 員】 むしろ、学校で出来ないことを（アウトリーチで）行うということで、関連付けない方が良いかないと考えていたよね。
- 【F 委 員】 手を挙げた学校だけですよね。
- 【A指定管理者】 その通り。校長会で説明を行い、希望を出してもらっている。平成26年度は6校、平成27年度以降は7校すべてで実施している。
- 【A 委 員】 後ほど行う点検評価の中で、市から指定管理者への実施要望の事業の中にもアウトリーチが含まれており、それに基づいて具体的な提案をしているということで良いか。
- 【A指定管理者】 その通りである。
- 【A 委 員】 （点検評価では）アウトリーチがちゃんと出来ているかを見てもらう。
- 【A 委 員】 事業の収支が劇的に改善されているが、一過性の成功なのか、意図的に努力をして継続出来そうなのか。随分改善している。
- 【A指定管理者】 平成29年度は過去3年間と比べ、事業内容を大幅に変えている。また、これまで3年間の取り組みが、昨年度、形として表れてきたのではないかと考える。現在販売中の公演チケットについても好調であり、来館者も増えているので、一過性ではなく、事業を実施しているということが（市民に）浸透してきたのではないかと。
- 【A 委 員】 戦略を練って努力してきた結果が出て来たと（いうことでよいか）。
- 【A指定管理者】 スタッフの努力の賜物である。
- 【A 委 員】 （内容としても）いい演目が増えてきているように感じる。
- 【E 委 員】 そのように思う。完売が増えており、いい公演は発売日に買わないとチケットが取れなくなっている。
- 【C 委 員】 利用料金制を取っており、予算が1,000万円である。稼働率がホールでは57～58%。稼働のバランスが大事である。自主事業をたくさん実施すればする程（利用料金としての）実入りが少なくなってくる。行政利用があれば、減免等の話が出てくるし、そういった部分

を含めて、この1, 000万円という額が（予算として）妥当なのかという判断が大事。

また、稼働率が上がるほど燃料費も掛かってくるということで、今回も燃料費がオーバーしているが、そういった部分のバランスを今後どのように考えているのか。対策等はあるのか。

【A指定管理者】 利用料金については、元々（施設の利用料）が高額の施設ではないので、1, 000万円からMAXで1, 200万円だと考えている。燃料費については、これ以上稼働率が上がるようであれば運営の仕方を考えていかなければいけないと話している。

自主事業が増えたから利用料金が少なくなった、とは捉えていない。土日に関しては一般の利用者の利用も増えており、9月以降の土日はほぼ使えない状態であり、自分達の公演についても（日程の予約を）見込んでおかないといけない程、土日を始め利用者が増えている。そのため、利用料金収入が自主事業が原因で減っていくということは考えていない。

【A 委 員】 言い換えると、まだ貸館利用の余裕があると。自主事業が貸館の圧迫はしていない（ということで良いか）。

【A指定管理者】 していない。これまでの4年間の統計で、一番稼働率が低い5月の利用率を伸ばすことが出来れば、（稼働率・利用料金収入も）上がる可能性があると考えている。

【C 委 員】 様々な講座を実施しているが、（短期長期間問わず）将来的に講座を受けた生徒さんをどうしていきたいというビジョンはあるか。

【A指定管理者】 現在実施している事業については、ビジョンは特にない。

【B指定管理者】 継続していくような講座が実際にはあまりないので、考えていない。現段階では、幅広く芸術文化に触れていただく、様々な体験をしていただくことをメインに考えている。

【C 委 員】 講座の長期的なビジョンを持っていれば、（受講者が）施設利用者として返ってくることもあるので、長期的な部分も視野に入れていくと良いのではないかと。

【B指定管理者】 今回楽屋系統の利用率が急激に下がっているという現状があり、そこ

を伸ばしていくことが課題にもなっており、講座などを考えていかなくはと考えている。

【A 委 員】 （事業報告書に）フルートの講座（ワークショップ）があったが、対象は小学生か。

【B指定管理者】 平成29年度から、小学校2年生以上であればどなたでも受けられるようにした。

【A 委 員】 アンケートを見ると結構難しかった、吹けなかったとあるが。

【B指定管理者】 普通は1時間で吹ける楽器ではなくて。無理やり（時間内で）やっている所がある。

【A 委 員】 なので、そういったものを長期的な講座にしても良いのかなと思う。
1回限りで音が出なくて嫌になるよりは、2回3回と（講座を設けて）出来るようになるように続けていくと良いのかなと（思う）。

【B指定管理者】 （ワークショップに）協力いただいているムラマツ楽器より、楽屋系統を利用した講座を継続してやる、という提案はいただいている。碧南で実現可能かどうかを吟味している状態である。

【A 委 員】 講師料などの収支の部分を検討しているのか。

【B指定管理者】 そこも含め、ムラマツ楽器のご要望があるので、その兼ね合いである。

【E 委 員】 講師として携わっている。村松楽器は小学生を増やしていきたいという要望があるが、あまり小さい子からは難しい。こちらとしてはもう少しシニア世代、お金を持っている世代に目を向けてはとは提案している。

【A 委 員】 最近はシニア世代の習い事も増えている。長久手もあるのでは。

【C 委 員】 バレエとかがあり、結構人気がある。

【A 委 員】 子どもの頃挫折したがもう一度やりたい、という世代も増えているのでは。

【B指定管理者】 去年、今年も実施しているカホン講座でも、何か楽器をやりたかったという方がいるので、そういった面で利用を伸ばせたらと思っている。

【A 委 員】 先程のB委員の話と関連するのだが、事業費の予算と決算では予算よりも事業費（実績）が減っている。そこは、事業費としては使いすぎたくらいで、他の管理運営費を圧縮して調節をした方が、事業にとつ

てはいいのだと思っている。その辺りの改善はした方が良い。

他の会館だと、事業費と管理運営費を完全に分離して決算を出しているところも結構ある。今回、碧南市は一体でみているが。

【G 委 員】 2 Pの総合計画の進捗状況をみると、劇的に入場率が向上していて、地道に努力していただいているなど感じている。

【A 委 員】 (2 P：総合計画の) 芸術文化団体の定義は何だったか。

【B指定管理者】 芸術文化ホールを定期的に利用されている文化団体が、芸術文化ホールを使って公演をした、という数。平成29年度は、キッズのダンスチームや朗読の発表会があった。例えば、和太鼓やベリーダンスの方は公演を行わなかったの、数が減っている。

【A 委 員】 例えば講座を連続企画して、ホールを使って発表するとこの数に含まれるのか。

【B指定管理者】 そういうことになる。今年度はカホン教室を行うのだが、発表の場がないのは淋しいと声が出ているので、ARTPOTLUCK という事業の中で成果発表の場を設けていたらとは話している。

【A 委 員】 質問がないようなので、ここから点検評価に入るので事務局から説明をお願いします。

< 事務局より点検評価について説明 >

【A 委 員】 点検評価に入る前に、先程の（指定管理者からの）事業報告書の説明と点検評価の項目に整合性がない部分があるので、改めて項目に沿って追加の質問をさせていただきながら進めてもよいか。

【事 務 局】 そのように進めていただいて、問題ない。

< 点検評価項目ごとに、指定管理者より説明 >

【A 委 員】 何か質問等がありますか。

【F 委 員】 碧南市は図書館と同一敷地内という特色があるのだが、他市でそういった特色を持った施設はあるのか。

- 【A指定管理者】 近年、そうった特色を持った複合施設は増えている。例えば近隣だと、大府市では図書館とホールが近接している。書籍を基にした公演を実施しているホールも多くある。当ホールでも、平成28年度に「ぞうのババール」という絵本を題材にした朗読劇の公演を実施している。
- （図書館とホールが）静と動という真逆の関係性の施設であり、アプローチが難しい部分があり、連携というのは課題であると考えている。
- 【F 委 員】 芸術文化村というひとつのくくりの中で、先程の話の中で図書館からのオファーがあるが（ホールの）企画がメインとなって（連携が出来ていない）ということがあるようだが、今後の方向性として話に出たような絵本に関連した公演など、親子で参加できるような提案があるといいかと思う。
- 【A指定管理者】 （芸術文化村としての）特色を活かした事業が行えればと思う。
- 【A 委 員】 図書館からのアプローチはないということでよかったよね。
- 【A指定管理者】 そうである。こちらから提案は行っているが、（図書館の）年間スケジュールが決まっているということがあり、入りにくい部分がある。具体的には、先程の「ぞうのババール」の公演と併せて、読み聞かせの話などを提案したが、既にスケジュールが決まっている等、持ちかけるタイミング等うまくいかない部分があり、今後の課題である。
- 【E 委 員】 企業からの広告収入の部分は、やっていないという評価で良いか。
- 【A 委 員】 やれていない、ということで評価を行っていただくかは審査委員の裁量である。空欄というのではなく、何かしらの評価を行っていただく。
- 【B指定管理者】 こちらから企業に出向いて広告収入を得るということは一度もないのが、去年のオペラ公演のように、財団の援助をいただき、通常では出来ない価格で公演を成立させているということはある。
- 【A指定管理者】 表に出にくい部分で（援助を受けている）ということはある。
- 【A 委 員】 それではこれですべての質問が終わりましたので、点検評価に入っていきますので、ここからは指定管理者に退席いただきます。
- ありがとうございました。